

1 チャリティ贈呈式報告

寄附先	「ヨコハマ海洋市民大学実行委員会」	
寄附理由	海の環境、生き物、人と海の関係、ヨコハマの海、海が抱える課題など、海を様々な角度から知ることができます。専門家を講師に招き自ら考え行動できる人材の育成を目指し、横浜における海域環境改善に向けた人材の育成に大きく貢献している。	
寄附金額	760,000円	
日程	令和元年7月2日（火）	
時間	15時30分～15時50分	
会場	横浜市体育協会地下1階会議室	
出席者	●大会組織委員会	山口 宏 組織委員会副会長・横浜市体育協会会長
		金子 忠彦 組織委員会事務局長・横浜市体育協会大規模スポーツイベント担当局長
		飯田 能弘 組織委員会委員・横浜市市民局スポーツ統括室スポーツ振興部担当部長
	●立会人	大久保 拳志 日本トライアスロン連合顧問
	●ヨコハマ海洋市民大学実行委員会	金木 伸浩 ヨコハマ海洋市民大学実行委員会実行委員長
		三上 己紀 ヨコハマ海洋市民大学実行委員会実行委員
新村 浩子 ヨコハマ海洋市民大学実行委員会実行委員		

2 寄附を受けてのヨコハマ海洋市民大学実行委員長よりご挨拶

挨拶文

私たちヨコハマ海洋市民大学実行委員会にはスタート当時から大切にしている言葉があります。それは、「うみをみる・うみからみる・うみのなかをみる、じぶんがきづく・みんなでうごく・せかいがかわる」こんな言葉です。この言葉をキーワードにして様々な角度から海について学び、自分が気づいたことを周りの人に伝えられるようになり、自ら活動する人になる、そんな市民の育成を目指して私たちはこのヨコハマ海洋市民大学を続けています。本日、寄附金を頂戴することは非常に光栄なことであり、また私たちの活動が認められてもらえたという大きな喜びでもあります。この貴重な寄附金を有意義に使い、市民がさらに横浜の海へ貢献できるよう、様々な海洋教育を充実させて参りたいと思います。

3 贈呈式の様子



目録贈呈



山口副会長あいさつ



集合写真

(左から、大久保、金子、飯田、山口、金木、新村、三上)



贈呈式後の歓談